

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902611		
法人名	医療法人社団 旭川圭泉会病院		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地	北海道旭川市東旭川町下兵村 254番地3 (電話) 0166-36-6511		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月26日	評価確定日	平成22年3月3日

【情報提供票より】(平成22年2月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月30日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算	10人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	～ 1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	12,000～19,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月8日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名
要介護3	5 名	要介護4	5 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 82.3 歳	最低 67 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 旭川圭泉会病院・東旭川病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

子供連れの家族や地域の婦人部の人達等参加する「地域交流会」を開催して、地域との交流・連携に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。また、町内会長さんの協力を得て定期的に発行する「グループホーム新聞」を町内会へ回覧したり、敬老会や農業祭りに参加をするなど地元の人々との交流にも努めています。張り合いや喜びのある日々を過ごせるように職員が計画立案に取り組み外食やお祭り見物、誕生会等楽しみごとや気晴らしへの支援が行われています。職員の資格取得への支援や年間研修計画で認知症介護実践者研修等の外部研修参加や院内基礎研修、事故防止対策等の内部研修も充実させて研修の機会が確保されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、利用者の外出時の服装の把握について改善点が見出されていましたが、全ての職員が共通認識が持てるように記録され不測の事態への対応が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、課題を明らかにし、改善の機会として利用されています。また、自己評価は気づきの機会として利用され、身体拘束廃止等具体的な内容で話し合わせ、外部評価の結果は、運営推進会議で報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され、主な議題は 認知症サポーターキャラバンメイトについて 情報の公表制度について 消防法改正によるスプリンクラー設置について 旭川市の救急医療体制及び活動の現況について 地域交流会の開催について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族及び来訪者等が苦情や意見等言い表せるように記入しやすい場所に「意見箱」を設置して、その機会を設けています。また、法人の苦情相談窓口連絡先や苦情相談のポスターを各ユニットに掲示しています。家族等の来訪時には、健康状態や生活の様子など話し合わせ、不安な点や要望等を言い表せる機会も確保され、運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 定期的に発行する「グループホーム新聞」を町内会へ回覧したり、敬老会や農業祭りに参加するなど地元の人々との交流や地域交流会の開催、ホームの開催する「七夕での花火大会」を地域の人達に参加を呼びかけたり、地域の子供達との交流、セラピー犬や大正琴等のボランティアの受け入れを通じて地域との交流・連携に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念をつくりあげて毎朝申し送り前に唱和している。また、理念達成の為に職員一人ひとりの目標を明確にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝の申し送りで理念・基本方針を全員で唱和し、地域の活動参加や地元の人々との交流で、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的に発行する「グループホーム新聞」を町内会へ回覧したり、敬老会や農業祭りに参加をするなど地元の人々との交流や地域交流会の開催、ホームの開催する「七夕での花火大会」を地域の人達に参加を呼びかけたり、大正琴等のボランティアの受け入れを通じて地域との交流・連携に努めている。	○	特筆すべき点として、ホームの七夕祭りでの近隣住民の参加等地元の人々との交流・連携に努めている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、課題を明らかにし、改善の機会として利用されている。また、自己評価は気づきの機会として利用され、身体拘束廃止等具体的な内容で話し合われ、外部評価の結果は、運営推進会議で報告され意見交換されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、年6回を目安に開催され、消防法改正によるスプリンクラー設置等具体的内容で話し合われている。また、町内会役員や民生委員との意見交換で地域との連携やサービスの向上に活かされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や包括支援センター等の各種研修会参加や日常業務を通じた情報交換でサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理は毎月、金銭出納帳と領収書が添付され報告されている。また、職員の異動等は定期的に発行される「グループホーム新聞」に掲載して、報告されていると共に外出行事や日常生活の様子など掲載している。	○	家族等に健康状態など変化があった場合等こまめに報告されている。今後は、ケアの記録や職員の思い等伝えられる工夫に期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族及び来訪者等が苦情や意見等言い表せるように記入しやすい場所に「意見箱」を設置して、その機会を設けている。また、法人の苦情相談窓口連絡先や苦情相談のポスターを掲示し、来訪時には要望や不安な点等話し合われ運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は少なく、馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように配慮している。また、異動があった場合には、「グループホーム新聞」で職員の紹介記事が掲載されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資格取得への支援や年間研修計画で認知症介護実践者研修等の外部研修参加や院内基礎研修、事故防止対策等の内部研修も充実させて研修の機会が確保されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の他施設と事故防止対策委員会や身体拘束廃止委員会等を立ち上げサービスの質を向上させていく取り組みをしている。また、協議会やケアマネ研修会、包括支援センターの研修会参加を通じて情報交換や訪問等行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、見学や相談等を行い職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	センター方式を利用して一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を把握され職員間で共有されている。また、畑作業や園芸、家事など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて刺し子や畑での野菜作り、散歩や買物、ヤクルトやパン屋さんの訪問販売で金銭を使う場面を見出したり本人を尊重した支援が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、定期的にカンファレンス、モニタリングを行い、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的にしている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、現状に即した介護計画の見直しが行われている。	○	特筆すべき点として、センター方式で把握された思いや生活歴、アセスメントに基づいた介護計画、サービス提供内容、モニタリング（評価）が実施され次の計画に反映されている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、受診介助や散歩、買い物等柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医との連携で適切な医療を受けられるように支援している。また、利用者を良く知る看護師が在籍しており、日常の健康管理が行われている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、法人の指針が明確化され、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認されて職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事故防止対策委員会や身体拘束廃止委員会等で話し合わせ、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した、言葉かけや対応が行われている。また、記録等の個人情報の取り扱いは配慮している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、刺し子や習字、畑作業や園芸、食事の準備や後片付け等本人の希望に沿った支援をしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、料理の下ごしらえや配膳、畑で収穫した野菜の調理など職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミング、日常生活を考慮して、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの生活歴や力が把握され、近隣のスーパーやコンビニでの買い物、畑で収穫した野菜の調理や食器洗い、地域のお祭り等の行事参加など役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、農業祭や地域交流会の参加、散歩や買い物、花菜里ランドへのドライブ等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。	○	特筆すべき点として、不測の事態を防ぐ為に全ての職員が共通認識を持ち、記録への記載等対策が行われている。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	評価日にスプリンクラーの設置工事が行われていた。また、定期的な火災避難訓練、自衛消防訓練、救急救命訓練が定期的実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや摂取カロリーは、把握され、毎食後口腔ケアが実施されている。また、一人ひとりの状態や力に応じた支援が行われ、具体的な食事や水分の摂取量が記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や共用空間には、花や刺し子、習字等の作品が飾られたり、手作りカレンダーや行事参加の写真が掲示され季節感や生活感が感じられるように工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさや、光の強さは感じられない。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、家族の写真や観葉植物が飾られ居心地よく過ごせるような工夫がされている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。